



学校だより 寒河江市立醍醐小学校

校長 清水 信子

だ い ご

令和7年

7月18日

NO. 4

ふるさとを愛し、一人一人が輝く子どもの育成 ～夢に向かって、みんなでチャレンジ～

地域とかかわり、醍醐を好きな子に

本校でめざす子ども像の一つが「ふるさとを愛する子」です。地域の「人・もの(豊かな自然や建物など)・こと(文化・歴史・行事など)」とかかわる中で、醍醐のよさを知り、醍醐を好きになってほしい。そして、そのよさを伝える地域の担い手になったり、地域を支える力になったりしてほしいと願っています。醍醐地区には、豊かな自然や文化、歴史など素敵なものがたくさんあるのに、子どもたちにとってはいつも周りにある「当たり前」のもので、そのよさに気づいていないようです。そこで、地域に出て体験したり、地域の方から話を聞いたりして、醍醐地区のよさをたくさん学ばせたいと思い、各学年で工夫した「醍醐学」に取り組んでいます。

3年生は、6月20日(金)にさくらんぼ畑の見学に出かけました。さくらんぼの実がついた木を見ながら話を聞き、収穫体験をさせていただき、その場で味わうさくらんぼの味は格別だったと思います。また、6月26日(木)には、1年生が通学路探検に出かけました。普段歩いているところにどんなものがあるのか、みんなで探検しながら、地区を知ることができました。

7月10日(木)は、地域の歴史や文化、伝統について学ぶ一日でした。3・4年生の紅花学習では、田沢地区の畑に行き、紅花摘み体験をしました。「昔は、朝4時から5時から収穫して、手袋なんてしなかったんだよ。」「朝早いと、棘がちくちくしないんだ。」という話を聞きながら、たくさんの紅花を収穫しました。子どもたちは、収穫した紅花が来年度の慈恩寺一切経会の際の衣裳に使われると聞き、来年を楽しみにしていました。午後からは、「日和田弥重郎花笠田植踊を学ぶ会」がありました。縦割り班ごとと全校生が2つのグループに分かれ、早乙女、弥重郎それぞれの踊りを教えていただきました。学年が上がるにつれて上手になっているのがわかり、子どもたちも自信に満ちた表情で取り組んでいました。



本物とのふれ合い

AIが発達している現代ですが、バーチャルではなく本物と出会い、目の前で実際に見たりふれ合ったりする体験は、子どもたちの心に大きな影響を与え、感性を育てます。

モンテ夢クラス

6月23日(月)に、4～6年生がモンテディオ山形の選手と夢について語り合う「モンテ夢クラス」がありました。プロの選手とサッカー対決をして、正確なパスやドリブルのうまさに圧倒された子どもたち。選手からは、「途中でうまくいかないこともあるかもしれない。でも、夢に向かって努力し続けたら、夢は叶うと思う。あきらめずに頑張してほしい。」というメッセージをいただきました。



障がい者アート交流



7月7日(月)に、アートサポートセンターららの方が来校し、3・4年生が交流しました。障がいをもっているも、得意なことを生かしてデザインのプロとして活躍している様子を見せていただき、子どもたちは前のめりになって話を聞いていました。楽しく心が温くなる絵のテーマや鮮やかな色彩で、子どもたちの表情も生き生きしていました。

8・9月の主な行事予定

- 8月21日(木) 2学期始業式
- 26日(火) 就学時健診・オリエンテーション
- 9月5日(金) 3・4年校外学習
- 9日(火) 6年地層学習
- 10日(水) 学校運営協議会(2回目)
- 11日(木) 芸術鑑賞教室
- 17日(水)・18日(木) 5・6年宿泊学習
- 25日(木) 秋の学校全体会
- 27日(土) 親子学校清掃・全戸草取り
- 29日(月)・30日(火) 個人面談

ご協力よろしくお願ひします

9月27日(土) 6:00～
全戸草取り・親子学校清掃

小6合同学習会



7月7日(月)に、陵西学区の6年生が高松小に集まって、合同学習会を行いました。国語「いちばん大事なものは」の学習で、お互いのことを聞いたり話したりしながら交流しました。最初は緊張していた子どもたちでしたが、少しずつ打ち解け、笑顔も見られました。